



入場ゲートには、各地から帰参した団体や家族連れなどが長蛇の列をつくった



1月4日の「鏡開き」。座布団大の鏡餅を手作業で運ぶ



切り餅を炭火で一つひとつ丹念に焼き上げる



学生たちも笑顔で接待に当たった

新春の伝統行事に7万4000人

天理教教会本部「お節会」

新春の大和の風物詩、天理教教会本部の「お節会」が1月5日から7日にかけて奈良県天理市で催され、3日間で約7万4000人が訪れた。明治初期から連綿と続くこの伝統行事は、正月三が日、本部神殿に供えられた鏡餅を、4日の「鏡開き」で食べやすい大きさに切り分け、水菜を添えたすまし雑煮として参拝者に振る舞うもの。会場では、職員や学生・生徒など約5000人が、餅焼きや接待、誘導などの受け入れに当たった。

